



会務報告

た頃、外島健吉氏より、ポトピアの雑感立板に水、盃洗を流す如く一同聞き惚れるばかり、博覧会当局の御辛勞の数々が推察出来た。次にスピーチは北海道支部山口幹事から皮切りに在職中の過歴談あり、東京支部加藤幹事からは見学の話等報告、中部支部竹下支部長からは近く支部総会を行度き希望を述べる。四国支部からは竹崎幹事が八十八歳の高齢もいとわず出陣され、瘠せても樗だと言わんばかりの元氣振り、主として健康法の体験談を語られた。最後には流行歌も飛び出す等ユーモラスさで一同を喜ばせた。九州支部からは吉田宜蔵氏から松本支部長に代って支部の情勢を話された。

博覧会の見学を急いだ為に閉会の辞を柳田幹事から閉会のことばとして御来場の謝辞と御健康御自愛を祈りハッピーエンドとした。解散後は各自博覧会の方へ足を早められパビリオンを心ゆく迄観賞されたことと思われる。

矢車が廻り始める朝の輝き  
五六・五・一三(編)

薫風爽かな今日、北は北海道、関東、中部から、南は四国、九州と文字通り全国より同志百二十有余名が元氣な姿でここに相集い、新しい「海の文化都市」神戸ポートアイランドに於て本年度の全国大会を開催する事が出来ました事は恂に同慶の至りに堪えない処であります。

如何でしたでしょうか。このホテル迄お越しになる道すがら、ポートライナ又は自動車の窓から或は船上より御覧になった「海の文化都市」は辰時代の夫れと比較されて如何でしたでしょうか。その後引き続き神戸に在任しております我々にしてその変貌振りは実に興味津々たるものがあります丈に大方の皆様方にとつては隔世の感を抱かれたのではなからうかと存じます。本会解散後ポトピア'81を御覧頂く訳であります、どうか今一度その後の変遷振りを脳裡に焼き付けてお帰り頂きたいと存じます。

さて去る四月二日開演の梅田コマ劇場に於ける「海鳴りやまず」上演につきましては会員の皆様方

を始め太陽鋳工、神戸製鋼所、N・V・テイジン等関係各社の絶大なる御後援に依つて去る二十八日盛會裡に千秋楽を迎えました。又宝珠山祥竜寺大殿屋根修復につきまして、之亦関係各社と共に会員の皆さま方より絶大なる御支援を頂きまして、漸く三月上旬無事竣工、去る四月二十六日落慶法要も滞りなく相済みましたので

併せて御報告申し上げ御協力の程を重ねて厚く御礼申し上げます。次で「たつみ」誌第三十五号編纂にボツ／＼取り掛りたいと存じておりますがつきましては現在お手許にあります原稿は成る可く早くお送り頂きます様お願い致します。

物故者

五六・一・二七  
於：東天閣新年例会以後

死亡年月	住所	御芳名	享年	最終勤務
52年9月9日	伊勢市	奥田 量	76	京城支店
53年7月27日	池田市	田内 貞喜	78	沖見初炭抗
54年1月22日	福岡市	青柳 義祐	78	本店治金部
55年1月5日	鎌倉市	榎植 宗俊	87	本店治金部
56年1月20日	横濱市	山田 甚蔵	73	旭川支店
3月26日	東京都	富屋 五郎	81	旭川支店
8月3日	吹田市	高岡 芳馬	78	横浜支店
8月7日	東京都	遠藤亀三郎	87	鉄材部
8月13日	宝塚市	中川 総大	84	ボンベイ支店
27日	東大阪市	橋本時二郎	83	治金部
9月9日	芦屋市	松代和四郎	87	船舶部
11月17日	東京都	福永 俊一	78	船舶部
56年1月20日	申本市	大津房太郎	84	本店貨物課
3月9日	愛知市	西川 作蔵	81	天津出張所
22日	西宮市	甲斐多聞太	86	NY支店
25日	芦屋市	長山 泰憲	82	NY支店

尚本号は恒例によりまして関係各社は基より会員の方々から暑中見舞広告を頂きたいと存じております。処でその広告料御送金頂きます方法につきまして、従来は掲載後別途振り込んで頂いておりましたが、小額の事でもあり間々失念される向もあつて、人手少ない事務当局と致しましてはその整理に相当時間と手数料が費りますので、今回より

は原稿の御送付と広告料の御送金

共同時において、お送金頂いた分について掲載したいと考えております。以上事情万端御賢察の上是非御理解と御協力の程お願い申し上げます。つきましては早速今月末前後にその趣意書と振替用紙をお送り致しますので年会費と思召し又同時に「我未だ催在なり」と大いに誇示して頂く意味からも奮って御讃同頂き御協力の程切に切にお願い致します。

それでは最後に去る一月二十七日東天紅に於て開催致しました新年の例会以後に連絡のありました物故者の方々を御報告申し上げます。(前頁の表)

以上十六名の方々であります。その内十二名の方は昨年以前に亡くなられた方でありまして、この年始めに発送致しました新しい会員名簿到達によって御遺族の方から御連絡のありましたものです。推しますに日頃お内での御家族の間で辰巳会の話が乏しかったその結果ではなからうかと思われ

ます。それではこれ等の方々への御冥福を衷心よりお祈りして黙禱を捧げたいと存じます。

黙禱

有り難う御座居ました。以上を以て会務報告を終らして頂きます。御静聴ありがとうございました。(小倉記)

東京辰巳会春季旅行

昭和五十六年四月二十八日(火)この日天気晴朗、辰巳会東京支部一行四十名はMBCの貸切豪華バスで日本平、久能山、苺狩の旅に

立った。予定は四月二十三日であったが、当日は私鉄ストがあるかも知れないので本日に延期した。この日西川支部長は御用心のため参加を見合はされた。いつも御参加得意のジヨークで皆を笑わせて下さるのに一寸淋しい。午前八時四十分新宿高層ビルの建ち並ぶ朝日生命ビル前に集合、九時予定通り出発。車が東名高速道路に入ると百乃至百二十軒の快速で一路西に向つて突っ走る。その間田代、安東向幹事が会費を集めたり印刷物を配ったり忙しい。やがて右手に五合目位まで白雪に覆われた富士山が秀麗な裾を曳いて近々と仰が

れる。恰かも今日の愉しい旅行を祝福するかのよう。

新緑の野や山は清々しく、立つ鯉幟と共に一行を迎え送る。

富士川の中洲の草の夏めきて途中足柄休憩所で小休止、更に車を進め清水インターチェンジから南に反れ、清水市を横切り日本平へ九十九折りに上り、右に左に滴るような新緑を眺めながら正午前昼食所川崎家前に到着した。見るとにこ／＼と一老紳士が一行を出迎えてくれた。聞けば元保険部に居た高木虎之助様とのこと、旧友諸君と手とり合つて歓びを交された。今日は生僧の霞で富士山が見えないのが残念。

一同階上に上り昼食を共にする。名物のトコロそばなど珍味であつた。

午後一時ロプウェー日本平駅に集合。一行四十名は五十名乗りゴンドラにそっくり収まり海拔三〇八米の日本平から二七〇米の久能山へ綱渡りである。美しい若葉の空に宙釣り南に駿河湾、東は伊豆、西に御前崎が見えるという。太古より浸蝕作用によって固い部分のみ残り屏風の如くたちならぶ岩は緑鮮かである。六分間で久能

